

前回会議後の意見、質問への区の方針

資料2

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨）	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
1	本会 (R1. 11. 28) 会議後	大西 (恵) 委員	各事業の利用実績について ・JOTO塾、ふらっと教室の利用実績を教えてください。	令和元年12月現在の利用実績は以下の通りです。 ・JOTO塾 40名 ・不登校支援事業 37名	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 ())	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
2	本会 (R1. 11. 28) 会議後	大西 (恵) 委員 竹内 委員	こどもサポートネットについて (大西委員) ・こどもサポートネットの取組を紹介してください。 (竹内委員) ・こどもサポート推進員はどのように配置され(校下別等)地域にはどんな形で周知されるのでしょうか。ケース会議も行われて守秘義務を守られる状態で考えていただきたいです。	平成28年に実施した「子どもの生活に関する実態調査」の分析結果により、相対的困窮度の高い世帯は、子育て・教育・福祉・健康・就労などの複合的な課題を抱えていることが明らかになりました。 そのため、課題を抱えるこどもと子育て世帯における諸課題を発見し、学校・区役所・地域などが連携する支援体制の構築が必要であることから、こどもたちが多くの時間を過ごす学校に着目し、学校生活や家庭訪問を通じて教師の「気づき」を区役所の福祉制度や地域による支援などにつなぐ仕組み、社会全体でこどもや保護者を支援する仕組みとして、平成30年度から「こどもサポートネット」をモデル7区で実施し、令和2年度から、24区で展開することとなりました。 城東区におけるこどもサポート推進員は3名で、主な業務内容は、学校園等の巡回や子育て支援に関する地域資源の状況を把握するとともに、民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様とも連携し、地域における見守りや支援につないでいく役割となっており、守秘義務をはじめ地方公務員法に規定する服務及び懲戒の規程の対象となります。詳細は現在調整中で、決定次第お知らせしてまいります。	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 ())	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
3	本会 (R1. 11. 28) 会議後	小倉 委員 菅田 委員	区民の利便性向上について (小倉委員) ・コミュニティバスは採算を考えなくても良いと思う。それが公共、福祉、社会だと思う。 ・区役所の支所があると良い。 (菅田委員) ・大阪メトロ・シティバスを乗り継いで区役所に行くことができるので、コミュニティバスの必要性を感じない。赤バスが廃止されるときに相当な検討がなされたと思う。乗り継ぐことができない方々には別の対策を考えればよいのではないかと。	・城東区の交通機関としては現在、Osaka Metroの中央線、長堀鶴見緑地線、今里筋線、谷町線の他、京阪電車本線、JR学研都市線、JR大阪環状線、JRおおさか東線が走り、大阪シティバスも9系統が運行しており、区民の移動に係る公共交通ネットワークは概ね整っていると認識しています。 ・このため、現在のところ福祉・コミュニティバスを運行させる予定はありませんが、区民の利便性を図ることは重要と認識しており、今後の区内の交通事情や社会情勢、高齢者や障がいのある方の状況も注視しつつ区内のまちづくりの進展などに応じて、関係所管にも協力を求めるなど検討してまいります。	<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input checked="" type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外 ())	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

前回会議後の意見、質問への区の方の考え方

資料2

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨）	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
4	本会 (R1.11.28) 会議後	小倉 委員	認知症カフェについて		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 （ <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input checked="" type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外（ ））	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・「認知症カフェ」では客は来ないのではないか。	・「認知症カフェ」という名称は、認知症に対する理解を深めるとともに、特に初期の認知症の方を孤立させたり、家に閉じ込めないためにカフェという場を活用した取り組みの総称です。 ・各地域では、「ほほえみカフェ」「オレンジカフェ」など、親しみやすく参加しやすい愛称で展開しています。		
5	本会 (R1.11.28) 会議後	広沢 委員	地方自治の実践について		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 （ <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外（情報提供））	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・自治基本条例は住民の参画と協働を掲げている。「公共財」とは協働としての公共的な価値を考えることになる。官民連携からPPP/PFIにあるものは、今回のテーマにあいます。（自分たちのことは、自分たちのことは、自分たちで実践するという試みになる）私的セクターに依存することが多いと思われ、外からの地域経済活性化なども必要になる。（地産外商）	—		
6	本会 (R1.11.28) 会議後	関野 委員	町会加入啓発ビラについて		<input checked="" type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input type="checkbox"/> その他 （ <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外（ ））	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・具体的取組1-1-1に記載されている町会加入啓発ビラについて、最近、中国、東南アジア諸国からの移住者が増えつつあり、その方たちへの説明資料（中国語、韓国語、英語等）も作成していただければありがたい。	外国人の方にも、地域の一員として各種活動に関わっていただくことは重要であると考えます。 その一つの手法としていただいた委員のご意見について、予算との兼ね合いや局との調整も含め、今後検討させていただきたいと思っております。		
7	本会 (R1.11.28) 会議後	関野 委員	城北川の実践について		<input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 今年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応 <input type="checkbox"/> 来年度対応できないが、引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難・不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他 （ <input type="checkbox"/> 国所管、 <input type="checkbox"/> 府所管、 <input type="checkbox"/> 市他所属所管、 <input type="checkbox"/> 質問、 <input type="checkbox"/> 上記以外（ ））	予算措置 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
			・城北川のイベントが北部近隣地域が中心と思われる。参加者アンケートの結果も一部住民の意見になっているのでは。 ・継続するのであれば、イベント開催地から離れた地域も参加しやすいイベント内容も取り入れ、広報活動をしてはどうか。	城東区では区民ボランティアのアイラブ城北川実行委員会と協働し、キャンドルナイトin城北川などのイベントを通じて城北川の魅力を区民の皆さんに発信しています。 イベントについては、どなたでもご来場いただけるよう、区広報誌、区ホームページ、ツイッターに加え、町会掲示板へのポスター掲示、市立小中学校の全児童生徒へのチラシ配布等、区内全域に周知を行っているところです。 また、キャンドルナイトin城北川での「デコキャンドルづくり」など、どなたでも気軽に参加できる内容となっておりますが、今後もより魅力的な事業を展開してまいります。		

前回会議後の意見、質問への区の方針

資料2

番号	会議名	委員	委員からの意見・質問（要旨）	意見・質問への区としての考え方	対応状況	
8	本会 (R1.11.28) 会議後	菅田 委員	戦略2-1（防災）について①	<p>水害時の垂直避難についても、各地活協で避難計画を立てられる際には、もちろん支援をさせていただきます。</p> <p>しかしながら、他の建物に避難せず自宅の上階に移動した方が安全というケースも多くありますので、各ご家庭で自分自身はどうするべきかという事を話し合ってくださいとすることが重要であると考えております。</p> <p>なお、想定浸水深表示については、鳴野地域の取組を参考に作成し、区が管理している掲示板に設置をいたしました。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 ■その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、□質問、□上記以外())</p>	予算措置
			<p>・防災マップの作製支援とともに、水害時の垂直避難について、各地活協でどのような避難計画を立てているのか区役所での把握が必要。具体的に「〇丁目の住民は〇〇ビルに避難」等の計画が必要と考えられるので、各地活協への避難計画の支援を望む。</p> <p>(鳴野地域での、「想定浸水深」の表示で防災意識を高める取組は素晴らしい。その後、地活協としてどう進めていくのかや、将来的なビジョンも聞きたい。</p>			<p>□あり □なし</p>
9	本会 (R1.11.28) 会議後	菅田 委員	戦略2-1（防災）について②	<p>屋外スピーカーから発せられる音は周辺の建物に幾重にも反射し、その反響音が減衰するまでに一定の時間が必要です。</p> <p>従って、テレビ放送のような速さで発声すると、反響音とスピーカーの直接音が混ざり合った聞き取りにくい音になってしまいます。</p> <p>そのため、一語一語に間隔を持たせたゆっくりとした発声にしています。</p> <p>なお、音声放送の内容が聞き取れなかった場合は、「06-6210-3899」におかけいただくと放送内容を電話で聞くことができます。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 ■対応困難・不可 □その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、□質問、□上記以外())</p>	予算措置
			<p>・防災無線の放送がゆっくり過ぎて聞き取りづらい。テレビ・ラジオのアナウンサーのようなスピードで放送していただきたい。</p>			<p>□あり □なし</p>
10	本会 (R1.11.28) 会議後	菅田 委員	戦略3-2（教育）について①	<p>別紙参照</p> <p>アンケートにつきましては本市統一の質問項目になっております。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 ■その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、■質問、□上記以外())</p>	予算措置
			<p>・成果目標の「効果的な行政からの支援」というのはどのようなことか。学校へのアンケート調査で目標達成率を図るのかと考えるが、アンケートを取るならどのような項目になるかを教えて欲しい。</p>			<p>□あり □なし</p>
11	本会 (R1.11.28) 会議後	菅田 委員	戦略3-2（教育）について②	<p>不登校の児童生徒への支援については、継続的な運営ができるよう区取組として位置づけ、予算確保を行っております。</p> <p>実施にあたっては、区が求める事業の条件等をお示しして広く公募し、民間事業者やNPOなど応募者が企画提案した事業内容について、外部の有識者からなる選考委員によって適正かどうかを審査いただき、事業者を決定しています。</p>	<p>□要検討 □今年度対応 □来年度対応 □来年度対応できないが、引き続き検討 □対応困難・不可 ■その他 (□国所管、□府所管、□市他所属所管、■質問、□上記以外())</p>	予算措置
			<p>・不登校の児童・生徒に対する支援策には大いに賛成である。会議で民間業者・NPOでは不適切な意見があったが、子どもたちの居場所づくりは喫緊の課題なので民間の協力を仰ぐのは適切ではないかと考える。しかし継続的な運営が必要なので、民間事業者等の運営が困難にならないよう行政からの支援を望む。</p>			<p>□あり □なし</p>

※「□その他」…国や府・他局所管事業など区として対応できない内容、単に質問や感想、今後の実施が未定の場合、そのほかの「対応状況」に該当しないもの。

※「予算措置」の有無については、対応する場合のみ表記

「前回会議後の意見、質問への区の方の考え方」No.10 関係資料【別紙1】
「分権型教育行政」による区内の教育行政に関するアンケート

(●●●学校)

提出先：〇〇区役所 提出期限：〇月〇日

学校の活性化を目的とした「分権型教育行政」による区内の教育行政の取組に関しまして、ご意見をいただきたいと思ひます。

1. あなたは自校のある区において、「分権型教育行政」の取組が進められていることを知っていますか。該当する項目1つに○をつけてください。

ア 具体的な取組も含めて知っている	イ 概略は知っている
ウ 言葉は聞いたことがある	エ 知らない

2. 「分権型教育行政」により、自校の実情に応じた教育が行われ、教育内容がより充実していると思ひますか？ 該当する項目1つに○をつけてください。

ア 大いにそう思ふ	イ ある程度そう思ふ
ウ どちらかというと思ふ	エ どちらかというと思わない
オ あまりそう思わない	カ 全くそう思わない
(カのみその理由：)	

3. これまでの「分権型教育行政」による取組において、特に有効だったと思われるものはどのようなものがありますか？ 下記のア～コにおいて、該当する数字を○で囲んでください。

6 大いに有効であった 5 ある程度有効であった 4 どちらかというとも有効であった
3 どちらかというとも有効ではなかった 2 あまり有効ではなかった 1 全く有効ではなかった

ア 区教育担当次長執行枠を活用した区独自事業 (取組内容：例 イングリッシュツアー等)	— 6・5・4・3・2・1—
イ 区役所予算を活用した区独自事業 (取組内容：)	— 6・5・4・3・2・1—
ウ 学校協議会の運営の補佐	— 6・5・4・3・2・1—
エ 区教育行政連絡会	— 6・5・4・3・2・1—
オ 保護者・区民等の参画のための会議	— 6・5・4・3・2・1—

次ページへ続きます。

- | | |
|--|--------------------|
| カ 地域の人材活用等にかかる支援（人材バンク、広報紙の活用による人材募集等） | －6・5・4・3・2・1－ |
| キ 防災、減災に関する学校との情報共有、連携した取組
（取組内容： | －6・5・4・3・2・1－
） |
| ク 校長経営戦略支援予算を活用した学校独自の取組
（取組内容： | －6・5・4・3・2・1－
） |
| ケ 学校協議会による運営に関する計画の策定・進捗管理 | －6・5・4・3・2・1－ |
| コ 地震、事件、事故等が起こった場合の危機管理への対応 | －6・5・4・3・2・1－ |

4. 分権型教育行政に対して、今後どのような取組を期待していますか？

5. その他ご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

ご回答ありがとうございました。